

2018年 7月 4日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院第二内科に、慢性肝疾患で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学第二内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

肝硬変患者の血小板減少に対するルストロンボパグの反復使用における血小板増加効果に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学第二内科学講座 講師(職名) 井田良幸(氏名)

3. 研究の目的

ルストロンボパグ反復投与例における血小板増加効果を比較し、効果と安全性について検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2014年1月から2017年12月の間に当科で待機的な観血的処置を行った肝硬変患者のうち、術前血液検査上血小板5万/ μ L未満でかつ2回以上のルストロンボパグ投与を必要とした患者さんです。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、ルストロンボパグ投与前と手技前日の血小板数です。

(3) 方法

ルストロンボパグ投与前と手技前日の血小板数より血小板数5万/ μ L以上到達率と血小板数増加率を算出し、2回投与群、3回投与群、4回投与群の3群に分類し、それぞれの群において初回投与時と比較を行いました。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学第二内科学講座 担当医師 井田良幸

TEL: 073-447-2300 FAX: 073-445-3616

E-mail: y-mori@wakayama-med.ac.jp